

2015年度岩木健康増進プロジェクト健診に ご参加いただいた皆様へ

下記の研究に用いるため、皆様の情報を利用させていただきますので、お知らせいたします。

研究課題名： 口腔フレイルと過活動膀胱悪化の関係についての検討

研究の目的

下部尿路症状（LUTS）は、排尿困難、頻尿、残尿感、切迫性尿失禁が主症状の中年以降の男女に多く発症する疾患です。LUTS は男性では前立腺肥大症が原因となることが多いですが、加齢、動脈硬化、糖尿病、脂質異常症、高血圧などの生活習慣病、うつなどと深く関連する。しかし、詳しい病態は複雑であり未解明です。

フレイル（虚弱）は加齢や疾患によって身体的・精神的なさまざまな機能が徐々に衰え、心身のストレスに脆弱になった状態です。フレイルは様々な疾患で悪化し生活の質や日常生活動作を著明に低下させ死亡リスクとなります。フレイルは様々な尺度で評価されるが、身体機能の低下と LUTS との関係は以前から知られています。口腔フレイル（嚙む力の低下、ムセ、口の渇き）などは全身のフレイルのリスクとされています。しかし、口腔フレイルが LUTS と直接関係するかは未解明です。今回の研究では、口腔フレイルと LUTS との関係についての検討を目的とします。

研究実施期間： 2023年8月23日 ～ 2024年3月31日
(倫理委員会承認日)

対象となる方： 2015年の岩木健康増進プロジェクト健診に参加された方

利用させていただきたい試料・情報について

以下の情報を研究責任者である岡本 哲平の責任の下、標記研究課題実施のために弘前大学内で利用します。

先行研究「岩木地区住民における健康調査およびこれに基づく疾患予兆法と予防法の開発（承認番号：2014-377-1）」の2015年度の健診で取得されたデータ

2015年：

個人記録票（性別、年齢、身長、体重、ウエスト／ヒップ比、腹囲、血圧、握力、長座体前屈）

健康調査票（既往歴、薬物服用状況、労働状況、生活習慣（喫煙、飲酒、運動、睡眠）、うつ質問票、排尿障害質問票（IPSS、OABSS））

身体機能・体力測定（握力、10m 歩行速度）

血液項目（血算、総蛋白、クレアチニン、尿素窒素、尿酸、総コレステロール、中性脂肪、HDL、LDL コレステロール、血糖、ヘモグロビン A1c、ヘマトクリット、インターロイキン6、フィブリノゲン、血中 FDP、血清セロトニン濃度）

尿項目；酸化ストレスマーカー（8-OHdG）

歯科口腔外科データ：口腔機能評価 3 項目、歯周病（CPI）、う蝕歯数

2015 年に測定した口腔機能評価を含め、ベースラインのデータを使用し LUTS 症状の出現に関連するかを検討します。口腔機能評価 3 項目（ムセ、咀嚼力低下、口腔乾燥）のうち 2 項目を満たすものを口腔フレイルリスクありとして定義します。血清口腔フレイルリスクが LUTS と関係するかを年齢、BMI、内服薬、基礎疾患、性別、握力、歩行速度などの因子で調整した多変量解析で検討します。

なお、本研究で利用する情報は、先行研究「岩木地区住民における健康調査およびこれに基づく疾患予兆法と予防法の開発（承認番号：2014-377-1）」で収集し、加工（氏名、住所および生年月日と切り離し、照合のための符号・番号を付与）され、岩木データベースに登録された情報です。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。そのため、本研究により個人に還元する臨床的意義のある結果は得られないため、個別の結果については原則としてお答えできません。

研究への利用に同意いただけない場合には、「**情報利用提供停止願**い」をご提出ください。受領後、その方の試料・情報を対象から除外します。ただし、ご連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない方／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

本件連絡先	弘前大学医学部附属病院臨床試験管理センター（泌尿器科） 講師 岡本 哲平 住所 〒036-8563 青森県弘前市本町 53 電話 0172-33-5111 Email t-okamoto@hirosaki-u.ac.jp
情報利用停止願送付先	弘前大学大学院医学研究科附属健康・医療データサイエンス研究センター 医療データ解析学講座 教授 玉田 嘉紀 住所 〒036-8562 弘前市在府町 5 電話：0172-39-5037(代表) FAX：0172-39-5205